

丹波篠山市立西紀中学校 学習や生活に関する学力向上プラン【第3学年】

【調査結果の概要】

全体的な状況

全国学力調査において、国語・数学・理科いずれも全国平均値と同程度でした。市の生活状況調査においては、どの設問・項目においても、年々肯定的な回答をしている生徒が増えています。『自己肯定感』の項目では、「家族の支え」、「先生の支え」、「友だちの支え」など、周りの人に支えてもらっているという意識を強く感じています。『規律・思いやり』の項目での肯定率がたいへん高く、相手のことを考えて生活していることがうかがえました。ボランティア活動に、年々参加を希望する生徒が増えていることとのつながりがあると思います。『学級の絆』の項目では、肯定率が高く、全国平均をかなり上回っています。そして、【自分の所属するクラス】を大切にしている生徒が多いという結果が出ています。『学習意欲・学習習慣』の項目で、勉強への取り組みの方法や時間に対する課題があります。今後も、教育相談大切にし、学習活動の工夫をしていきたいと思っています。今後とも、ご家庭における安定した基本的生活習慣の確立に向けて取り組んでいただくようお願いします。

課題と対応

国語

書く力を育むことで伸ばす読解力の育成

- ・全体の正答率は全国（県）平均とほぼ同程度でした。「書く」問題については、特に正答率が高く、日々の学習の積み重ねを感じることができました。「読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができる」の観点では、全国平均を大きく上回っています。特に課題が見られた『文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができる』『文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる』については、今後も様々な文章を読み、言葉の意味を正しく知ったり、文章を適切に読み取ったりできるように、学習活動を工夫していきたいと考えています。

数学

イメージ化する力の育成

- ・全体の正答率は全国平均を下回っていました。領域別にみると、「図形」の領域では全国平均を上回っていましたが、その他の領域では課題が見られました。また、問題の形式別にみると、選択式では全国（県）とほぼ同等の結果でしたが、短答式や記述式では全国を大きく下回っていました。今後は、授業において選択式の解答練習に加え、短答式・記述式の解答に重点を置いた取り組みを進め、表現力や論理的思考力の向上を図っていきたいと考えています。

理科

論理的に思考する力の育成

- ・学校全体の正答率は、全国・県と比較して低い結果となりました。今年度よりCBTにて調査が行われましたが、分析も詳しく行えるようになっていきます。課題が見られた領域は、『地球』と『粒子』でした。その中でも公開されている問題の概要『塩素の元素記号を記述する』、『【予想】から学習した内容が反映されたAさんの【振り返り】を読み、Aさんの【予想】を判断し、選択する』という項目の正答率が低かったことから、『基礎的な知識を整理し活用できるようにすること』と『論理的に思考の流れを整理すること』を今後の授業に意識的にとりいれて、授業デザインを工夫していきたいと考えています。

学習・生活習慣

確かな学びの礎（いしずえ）の育成

- ・生活状況調査の結果から、読書をする時間や学習時間が短いことが分かりました。学習への意欲にもつながる部分でもありますので、学習の意義を感じる学習活動を工夫していきたいと考えています。

【保護者・校区の方へのお願い】

生徒たちは、昨年に引き続き、相手のことを思いやり、人間関係を大切にしながら生活をしており、クラスや学校のルール、友だちの意見を大切にしていることがわかります。『学級・自分の所属している集団=学校が好き・大切にしたい』という人として大切な気持ちが、更に育っていることを感じます。また、同時に自分に自信がないところもあり、相手を優先しすぎて、自分の気持ちを抑えてしまう傾向もあるようです。そのことで、本当に自分がしたいこと・すべきことに迷いを感じ、人間関係づくりに不安をもっている生徒もいます。これからも、多くの『成功体験』や『感動体験』を味わうことで、自己肯定感を育て、さらなる成長につなげていきたいと考えています。今後も、保護者の方・校区の皆様の学校行事への参加など、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

本校の課題として、ネット、SNS、ゲームなどに費やす時間もたいへん長い実態があります。最近の社会的課題となっている情報機器の使い方や時間などにつきましても、学校でも、継続的に指導を進めていきます。ご家庭でも、ルールづくりやルールの再確認の指導をよろしくお願いいたします。